

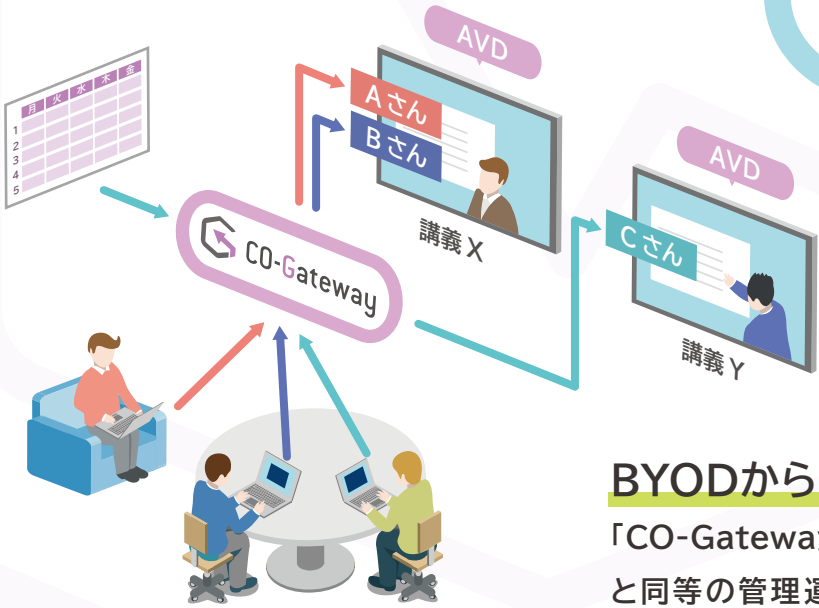
Windows VDI サービスの最高峰

クラウド型PC教室



CO-Gateway

with AVD



BYODから利用できるクラウド型PC教室を「CO-Gateway with AVD」で提供。これまでのPC教室と同等の管理運用ができ、講義をスムーズに進めるのに役立ちます。また、クラウド化により生じる課題も解決し、便利で使いやすく学びを支援するVDIサービスを実現します。

学生向けVDIサービス CO-Gateway with AVD

Microsoftの「Azure Virtual Desktop (AVD)」を基盤とした学生向けVDIサービスとして運用できるように、様々な機能を備えています。これまで十数年に渡ってPC教室の運用を考えてきたCO-CONVならではのアイデアが多数盛り込まれています。

主な特長

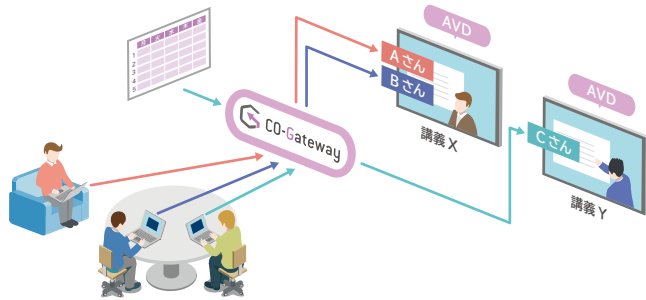
- 📌 時間割・履修情報との連携でユーザーごとに最適な接続先を提示
- 📌 LMS連携と、MicrosoftアカウントでのSSOで、AVD環境へ簡単に接続
- 📌 「まだ使っていますか？」のダイアログ表示で、適切に学生を入れ替えて環境復元
- 📌 必要な時に必要なだけAVD環境を作成し、サービス向上と費用削減を両立
- 📌 1つのイメージファイルから多数の端末が起動するため、共通環境として利用しやすい
- 📌 PC教室と同等にイメージファイルを管理し、差分管理やロールバックもできる
- 📌 講義ごとに異なる複数の環境を準備し、教員など誰にでも簡単にイメージ更新ができる
- 📌 Azureの構成を工夫することでAVDのコストを最小化



POINT 01

時間割・履修情報との連携

ユーザー情報や時間割・履修情報、予約情報に基づき、そのユーザーが利用可能なAVD (VDI) 環境を限定列挙して提示することで、最適な環境に接続させることができます。特に、マルチセッションを利用する場合は、同じ講義を受ける学生を同じセッションホストへ誘導します。



POINT 02

LMS連携とSSO

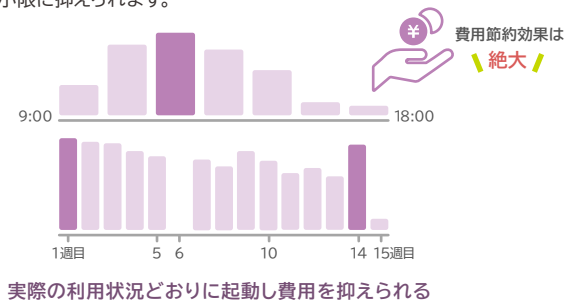
LTIにより、LMS上にAVD環境への接続情報を提示。LMS上で教材と同列にAVD環境へのリンクを表示し、ユーザーが迷いなく接続できます。CO-GatewayはMicrosoftアカウントでも認証できるため、AVDの接続先となるvPC (セッションホスト) をMicrosoftアカウントで認証するように構成することで、CO-Gateway、AVDポータル、vPCのすべてをMicrosoftアカウントでシングルサインオン (SSO) させることができます。



POINT 03

AVDの従量課金契約に対応

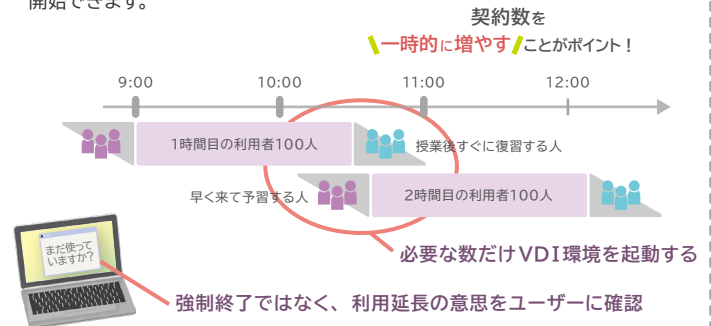
AVD環境は実際の利用者数(講義の場合は出席者数)にあわせて作成するため、講義情報や履修登録情報よりも実態に即した稼働数となります。長期休暇・休日・夜間などのユーザーがいない日時に稼働数を減らせるのは当然に、講義内容によってAVD環境を利用しない回がある場合にも柔軟に対応できます。この機能とAVDの従量課金契約の組み合わせにより、Azureの費用を最小限に抑えられます。



POINT 04

学生の入れ替えを最適化

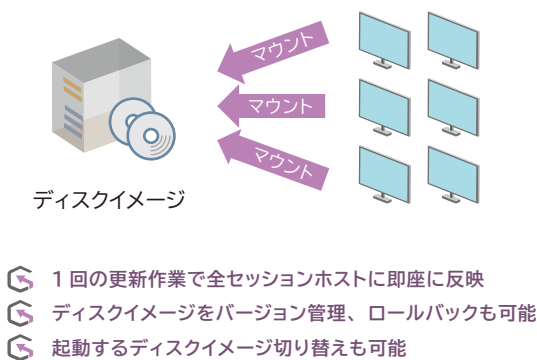
講義終了後にユーザーの画面にメッセージを表示し、利用継続の希望がないユーザーを利用終了扱いにします。次の講義で使う環境は、直前の講義で使っていた環境とは異なるため、短い休み時間で学生を強制的に追い出す必要がありません。また、次に利用するユーザーは、初期化された状態の環境で利用を開始できます。



POINT 05

環境統一・更新を簡単に

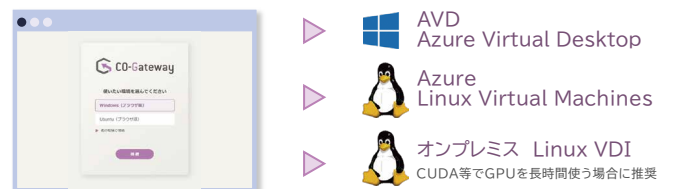
AVD環境の管理運用をこれまでのPC教室と同じように簡単にできます。



POINT 06

Linux VDIもAzure内で

AVDの管理ツールでありながら、CO-Gatewayの機能により、Linux環境やオンプレVDI環境との併用ができます。ユーザーに対しては、VDI基板の違いを意識させることなく利用可能な環境を同列に提示できます。



お問い合わせ
株式会社シー・オー・コンヴ

〒606-8301 京都市左京区吉田和泉殿町1番地7 百万遍ビル3F
Tel : 075-606-5394 / Email : info@co-conv.jp

製品についての更に詳しいご案内は
弊社Webサイトで!



<https://www.co-conv.jp/product/co-gateway/>